言語聴覚学科　教育課程表

別表1-3

	指定規則に定める教育内容	指定規則に定める単位数	学則に定める合計単位数	学則に定める単位数	学則に定める時間数	授業形式	学則に定める授業科目	1学年	2学年
専門基礎分野	基礎医学	3	8	1	15	講義	医学総論	15	
				2	30	講義	生理学	30	
				2	30	講義	病理学	30	
				2	30	講義	解剖学	30	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅰ【基礎医学】		15
	臨床医学	6	11	1	15	講義	耳鼻咽喉科学	15	
				2	30	講義	内科学	30	
				2	30	講義	小児科学	30	
				1	15	講義	形成外科学	15	
				2	30	講義	臨床神経学	30	
				1	15	講義	精神医学	15	
				1	15	講義	リハビリテーション医学	15	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅱ【臨床医学】		15
	臨床歯科医学	1	1	1	15	講義	臨床歯科医学・口腔外科学	15	
	音声・言語・聴覚医学	3	7	2	30	講義	呼吸発声発語系	30	
				2	30	講義	聴覚系	30	
				2	30	講義	神経系	30	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅲ【音声言語聴覚医学】		15
	心理学	7	12	2	30	講義	認知・学習心理学	30	
				2	30	講義	生涯発達心理学	30	
				3	45	講義	臨床心理学	45	
				2	30	講義	心理測定法		30
				2	30	講義	心理統計法	30	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅳ【心理学】		15
	言語発達学	1	2	2	30	講義	言語発達学	30	
	言語学	2	4	3	45	講義	言語学	45	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅴ【言語学】		15
	音声学	2	4	3	45	講義	音声学	45	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅵ【音声学】		15
	音響学	2	4	2	30	講義	音響学	30	
				1	15	講義	聴覚心理学	15	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅶ【音響学】		15
	社会福祉・教育	2	4	2	30	講義	社会保障制度・関係法規		30
				1	30	講義・実技	リハビリテーション概論（介護福祉論含む）	30	
				1	15	講義	専門基礎分野特論Ⅷ【社会福祉・教育】		15
	合　計	29	57	57	870			690	180

専門分野	言語聴覚障害学総論	4	10	2	30	講義	言語聴覚障害学概論	30	
				2	30	講義	言語聴覚障害診断学	30	
				2	60	講義・実習	コミュニケーション技能演習	60	
				2	60	講義・実習	コミュニケーション障害演習	60	
				1	30	演習	言語聴覚障害学演習	30	
				1	15	講義	専門分野特論Ⅰ【言語聴覚障害学総論】		15
	失語・高次脳機能障害学	6	12	1	15	講義	Ⅰ概論	15	
				2	30	講義	Ⅱ失語・高次脳機能障害	30	
				4	60	講義	Ⅲ評価	60	
				2	30	講義	Ⅳ訓練		30
				1	30	演習	Ⅴケーススタディー		30
				1	15	講義	専門分野特論Ⅱ【失語症学】		15
				1	15	講義	専門分野特論Ⅲ【高次脳機能障害学】		15
	言語発達障害学	6	8	1	15	講義	Ⅰ概論	15	
				1	15	講義	Ⅱ自閉症スペクトラム障害	15	
				1	15	講義	Ⅲ知的発達障害	15	
				1	15	講義	Ⅳ限局性学習障害	15	
				1	15	講義	Ⅴ脳性麻痺・小児嚥下	15	
				1	30	講義・演習	Ⅵ検査・評価	30	
				1	30	演習	Ⅶケーススタディー		30
				1	15	講義	専門分野特論Ⅳ【言語発達障害学】		15
	発声発語・嚥下障害学	9	14	1	15	講義	Ⅰ概論	15	
				2	30	講義	Ⅱ小児系発話障害	30	
				2	30	講義	Ⅲ成人系発話障害	30	
				1	30	演習	Ⅳ成人系発話障害		30
				2	30	講義	Ⅴ摂食嚥下障害	30	
				1	30	演習	Ⅵ摂食嚥下障害		30
				1	15	講義	Ⅶ音声障害		15
				1	15	講義	Ⅷ流暢性障害（吃音を含む）		15
				1	30	演習	Ⅸケーススタディー		30
				1	15	講義	専門分野特論Ⅴ【発声発語障害学】		15
				1	15	講義	専門分野特論Ⅵ【摂食嚥下障害学】		15
	聴覚障害学	7	8	1	15	講義	Ⅰ概論	15	
				2	30	講義	Ⅱ成人聴覚障害	30	
				1	15	講義	Ⅲ小児聴覚障害	15	
				1	15	講義	Ⅳ小児聴覚障害		15
				1	15	講義	Ⅴ補聴器・人工内耳		15
				1	15	講義	Ⅵ視覚聴覚二重障害		15
				1	15	講義	専門分野特論Ⅶ【聴覚障害学】		15
	臨床実習	12	15	3	120	実習	実習Ⅰ（評価実習）	120	
				12	480	実習	実習Ⅱ（臨床実習）		480
	合　計	44	67	67	1545			705	840

総　合　計	合計		1学年		2学年	
	単位数	時間数	単位	時間	単位	時間
	124	2415	79	1395	43	1020

注）講義1単位15時間、演習1単位30時間、実習及び実技1単位30時間、臨床実習1単位40時間とする。

注）講義は前・後期制。1コマの授業は100分とする。

注）「コミュニケーション技能演習」、「コミュニケーション障害演習」のうち実習は、病院または診療所、老人保健施設、老人福祉施設等で行うものとする。

注）臨床実習のうち、「実習Ⅰ（評価実習）」は病院または診療所、老人保健施設等の実習地で行うものとする。

注）臨床実習のうち、「実習Ⅱ（臨床実習）」は「病院または診療所にて320時間」「老人保健施設・難聴児通園施設・ことばの教室等にて160時間」を行うものとし、計480時間の実習を行う。